

令和2年度 事業報告書

令和2年度も7月に豪雨災害が発生した。国土強靱化や良質なインフラ整備に寄与する活動を通し社会に貢献することが協会の使命であります。

グラウト工事は、目に見えない地盤の中を対象にしているため、品質を担保しなければならない。

そのためには技術の信頼性確保と技術継承を目的とした活動が事業の柱であり、地盤の安定性や止水性の確保にかかわる技術の調査・研究、グラウト材の注入量を管理する流量計を用いた施工管理方法の普及啓蒙活動に取り組みました。

また、建設現場の生産性向上策i-Constructionに対応し、数年来、グラウト材注入結果をデジタル化による見える化システムの研究開発にも取り組みました。

しかし、令和2年度は、全国的なコロナ禍により協会活動も影響を受け、中止を余儀なくされた事業もありました。

I. 事業活動

【I】調査・研究開発事業

工法の最適化とさらなる信頼性の確保ができる新しい施工管理方法等について i-Construction の利用も視野に入れて検討した。

1. 工法の最適化に関する調査・研究開発

(1) 注入工法の最適化に関する調査・研究開発

技術の変化に対応した工法の最適化について検討。

(2) i-Construction への対応と取り組み

注入結果の可視化やデータ処理業務の軽減を図るとともに、協会として信頼性を付加できる支援策（会員各社での開発・活用が中心であるが業界全体で取り組むべき基本技術や信頼性の付加等）について協会が担えるように検討している。

(3) 長期耐久性に関する調査研究を継続実施した。

(4) 薬液注入工法に関する新たな課題の検討。

2. 水ガラス系薬液年度別施工数量・工法目的別調査の結果

令和元年度の水ガラス系薬液の施工数量及び工法・目的別施工実績の調査結果を報告。

3. 施工管理機器・チャート紙等の認定等

(1) 協会認定型流量計の認定及び定期検査証の発行。

(2) 協会認定チャート紙（流量記録紙）の認定。

(3) 使用薬材の協会登録。

【II】普及啓蒙事業

事業の対象は、発注者（国・地方公共団体）、総合建設業、設計事務所、会員等であるが、コロナ禍により、実施した事業は次のとおりである。

1. 協会活動のPRと関係行政施策への協力・支援

(1) 建設業界紙に会長インタビュー記事と会員名簿を掲載し広報活動を実施した。

- ①令和2年5月15日の日刊建設工業新聞「2020 土質・地質と基礎」特集号に掲載。
- ②令和2年7月29日発行の日刊建設通信新聞「地盤特集2020」特集号に掲載。
- ③業界紙の行政施策特集号に名刺広告を掲載し広報活動を実施。

(2) 関係行政施策への協力・支援活動

①会員への関係行政通達等の周知

ホームページの「官庁からのお知らせ」に掲載し迅速に周知。

②関係省庁からの協力要請への対応

国土交通省からの7月豪雨による災害応急復旧等への協力要請に、協会の方針をホームページのトップに掲載し表明。

(3) 国の地方機関・都道府県等の行政施策への協力・支援

コロナ禍により実施できなかった。

2. 関係機関等との意見交換

コロナ禍のためWEB会議の開催となったが、参画し意見交換を行った。

- (1) 登録基幹技能者制度推進協議会
- (2) 建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会
- (3) 建設キャリアアップシステム運営協議会
- (4) 建設技能者能力評価制度推進協議会

3. 関係機関等への講師派遣

- (1) 日本下水道事業団研修センターより依頼を受けて地方公共団体担当者研修会に講師を派遣し工法の普及啓蒙活動を行った。(講師は技術委員会薬液注入部会委員)
コロナ禍のため4月～8月までは休校、9月28日午前 中嶋陽一、11月8日午前 鈴木義久・午後松田道弘の各講師
- (2) 地方自治体や関係団体等への講師派遣
講師の派遣依頼はなかった。

4. 技術説明会の継続実施

平成9年度より毎年度全国の主要都市4～5箇所で継続開催してきたが、令和2年度はコロナ禍によりすべて中止した。

5. 資料集等の発行・頒布

注入工法を広く正しくご利用いただくため、調査・研究開発の成果等を「資料集等」にまとめて発行・頒布等をし、普及啓蒙事業を継続実施した。

令和2年度に改訂発行したのは、④の設計資料、⑤の積算資料である。

【基本指針】

- ① 薬液注入工法の設計・施工指針 (平成元年6月)
- ② 耐久グラウト注入工法施工指針 (平成24年3月)

【技術論文】

- ③ 原位置長期耐久性確認試験10年目の報告書 (平成25年3月)

【運用の基礎】

- ④ 令和2年度版 設計資料 (令和2年5月改訂)
- ⑤ 令和2年度版 積算資料 (令和2年5月改訂)
- ⑥ 薬液注入工 施工資料 (平成30年度改訂版)
- ⑦ 設計資料の英訳版 (2018年 Version) (令和元年5月改訂)

【管理】

- ⑧ 薬液注入工事における施工管理方式 (平成2年10月)

【実用書】

- ⑨ 新訂「正しい薬液注入工法」—この一冊ですべてがわかる— (令和元年8月第4版増刷)
当協会編集・日刊建設工業新聞社発行、販売鹿島出版会

6. 工法に関する窓口相談の指導・助言

会員をはじめ発注機関(国・地方公共団体)、総合建設業、設計事務所等から、注入工法の設計・施工・管理に関する問い合わせが多数あり、薬液注入部会の委員が指導助言等を行った。

7. その他の広報活動

(1) ホームページによる広報活動

協会概要、協会発行刊行物、登録基幹技能者講習会、技術説明会、工法紹介等をホームページに掲載し広報活動を実施した。

コロナ禍のため以下の事業は未実施。

(2) 支部要望活動

(3) 2020 建設フェア—広島に出展

(4) 安全パトロールの実施

【Ⅲ】 技術向上事業

グラウト技術の信頼性の確保と技術継承を図るため、次の事業を継続実施した。

1. 令和2年度登録グラウト基幹技能者講習事業

(1) 第7回更新講習

通信教育(自宅学習)と試験により実施した。

受講者は、前年度未受講者を含め153名(対象者195名)である。

合格者は、153名。9月23日公表し、10月12日修了証を交付した。

(2) 第12回認定講習事業

新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施。

認定講習は、10月17日(土)・18日(日)の2日間、東京と大阪で同時開催した。

講義12時間及び試験1時間のカリキュラムにより実施。

開講挨拶は東京会場が藤澤伸行常務理事、大阪会場が柏谷英博常務理事が努めた。

講師は試験委員の7名が東京と大阪で講義を行った。

受講申込者は、東京と大阪を合わせて36名。

受講者は32名、合格者31名、不合格者1名。11月20日公表し、12月10日修了証を交付した。

2. 資格取得支援講習事業

(1) 「2級土木施工管理技術検定試験(種別:薬液注入)」の取得支援講習

関東支部 9月26日(土)9:00~17:00 ケミカルグラウト(株)会議室 30名参加。

関西支部 10月3日(土)9:00~17:00 大阪科学技術センター 12名参加。

講師はいずれも関東支部の渡邊将美様

3. 技術継承のための継続教育事業

登録グラウト基幹技能者講習、資格取得支援講習をCPDS(継続学習)の対象講習とし、継続教育の支援を行った。

【Ⅳ】 その他の事業

1. 災害応急・復興支援特別委員会において協会対応方針を検討

普及啓蒙活動に掲載。

2. 令和2年秋の褒章候補者の推薦・黄綬褒章受章

中森 保殿 日特建設株式会社 前会長

3. 国土交通省大臣顕彰及び局長顕彰の候補者推薦・受賞

令和2年度は、建設マスター4名、建設ジュニアマスター2名の候補者を推薦し、全員受賞した。

(1) 優秀施工者大臣顕彰（建設マスター）受賞者

近藤 健二殿 ライト工業株式会社

甲斐 幸徳殿 日特建設株式会社

三上 雄一殿 ケミカルグラウト株式会社

黒澤 潤一殿 日本基礎技術株式会社

(2) 青年優秀施工者局長顕彰（建設ジュニアマスター）受賞者

橋本 一生殿 ライト工業株式会社

藤井 雄一殿 日本基礎技術株式会社

4. 機関誌の発行

令和3年新年号に会長、副会長、常務理事の年頭ご挨拶と協会活動を掲載し会員に送付した。

II. 会 務

【I】 会員現況

令和2年4月1日現在 正会員 65社、賛助会員 52社・3団体 計 120社・団体

令和2年7月1日 賛助会員に株式会社FILLLとグラウト技研株式会社が入会

令和3年5月31日現在 正会員 65社、賛助会員 54社・3団体 計 122社・団体

【II】 令和2年度 通常総会・理事会・支部長会議等の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて次のとおり実施した。

1. 監事監査

令和2年5月21日（木）協会において、令和元年度の事業及び会計決算の監事監査を実施し、監査結果を令和2年度の第1回理事会及び第45回通常総会において報告した。

2. 第1回理事会（開催日時変更）

令和2年6月8日（月）15:30～15:50 日特建設株式会社本社6F会議室において開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。

（ 議 案 ）

第1号 定款の一部変更承認の件（主たる事務所の所在地変更）

第2号 令和元年度事業報告書承認の件

第3号 令和元年度会計決算報告書承認の件並びに同監事監査報告の件

第4号 令和2年度事業計画書報告の件

第5号 令和2年度予算書報告の件

第6号 令和2年度役員改選の件

（第1号から第6号は令和2年度通常総会に付議）

第7号 令和2年度通常総会の次第・運営に関する件

第8号 令和2年度支部長選任の件

- 第9号 賛助会員への入会申込の件（2社）
7月1日入会 株式会社FILL殿（愛知県一宮市）
グラウト技研株式会社（東京都新宿区）
- 第10号 令和2年度登録グラウト基幹技能者講習実施の件
①第7回更新講習
②第12回認定講習 10月17日（土）、10月18日（日）
- 第11号 任期満了により退任される役員の表彰の件
表彰規程により退任される役員を本年度の通常総会時に表彰したい。
感謝状に記念品（商品券）を添えて授与したい。
- 第12号 第2回理事会開催の件 令和2年度通常総会当日
日 時 令和2年6月8日（月）16:35～15:40
場 所 日特建設株式会社 本社 6階会議室
東京都中央区東日本橋3-10-6 Daiwa 東日本橋ビル

（報告事項）

1. 会長（代表理事）及び業務執行理事の職務の執行状況報告

3. 第45回通常総会（会場変更）

令和2年6月8日（月）16:00～16:30 日特建設株式会社本社6F会議室において開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。コロナ禍により会場を変更し少人数で開催。

（議案）

- 第1号 定款の一部変更承認の件（主たる事務所の所在地変更）
第2号 令和元年度事業報告書承認の件
第3号 令和元年度決算報告書承認の件及び同監事監査報告の件
第4号 令和2年度事業計画書報告の件
第5号 令和2年度予算書報告の件
第6号 令和2年度役員改選の件

4. 第2回理事会（会場変更）

令和2年6月8日（月）16:35～16:45 日特建設株式会社本社6F会議室において開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。コロナ事情により会場を変更。

（議案）

- 第1号 令和2年度第45回通常総会において選任された理事の中から、会長（代表理事）、副会長、専務理事、常務理事、事務局長の選定の件
会長（代表理事）立和田裕一殿、副会長永井典久殿、常務理事藤澤伸行殿、常務理事柏谷英博殿、常務理事宇賀良太殿、専務理事（事務局長兼務）遊田兼也が選定された。
- 第2号 顧問の委嘱の件
任期満了により退任された前会長中森 保殿を最高顧問に委嘱。
- 第3号 令和2年度第3回理事会開催の件
開催日時 令和2年8月27日（木）15:00～16:30
開催場所 ケミカルグラウト株式会社 会議室
港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館 3階会議室
電話 03-5575-0511 代表

5. 新旧会長ご挨拶及び表彰式

第2回理事会終了後、立和田新会長及び中森前会長よりご挨拶が行われた。引き続き、協会を代表して立和田会長より中森前会長へ、表彰規程に基づき感謝状に記念品を添えて授与された。また、当日欠席の石田理事には郵送した。

6. 通常総会懇親会（中止）

令和2年度通常総会懇親会は、コロナ禍のため中止した。
なお、役員改選期の場合は、懇親会において新役員を紹介するのが通例であり、立和田新会長、永井新副会長はじめ新役員等のご紹介は、コロナ事情を踏まえ改めて本年9月23日に開催予定とした。

7. 第1回業務執行理事会

令和2年8月5日(水)13:30~14:30 ケミカルグラウト株式会社会議室において、会長、副会長、常務理事、専務理事で構成する業務執行理事会を開催し、コロナ事情を踏まえた協会諸行事の実施について検討した。

8. 第3回理事会

令和2年8月27日(木)15:00~16:30 ケミカルグラウト株式会社会議室において開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。

(議案)

- 第1号 令和2年度業務執行理事の職務分担の件
- 第2号 令和2年度組織及び委員会体制の件
- 第3号 グラウト技能者能力評価に関する体制(案)の件
- 第4号 令和2年度本部・支部実施事業の件(支部改訂要望等含む)
- 第5号 令和2年度支部事業繰入金の件
- 第6号 令和2年7月豪雨による災害応急対策等への協力要請に対する協会対応の件
- 第7号 令和2年9月以降の当面の諸行事に関する件

(報告事項)

- 1. 会長(代表理事)及び業務執行理事の職務の執行状況の報告
- 2. 立和田新会長インタビュー記事の業界紙掲載報告

9. 支部長会議

令和2年9月23日(水)14:00~15:30 ケミカルグラウト株式会社会議室で開催し、支部実施事業、支部要望事項(設計資料・積算資料の改訂)について意見交換を行った。

出席者 本部 立和田会長、永井副会長、藤澤・柏谷・宇賀常務理事、
鈴木技術委員長、遊田専務理事

支部長 西川北海道支部長代理、竹中東北支部長、山本北陸支部長、
笠原中部支部長、工藤関西支部長、石橋九州支部長

10. 立和田新会長就任披露パーティーの開催

新型コロナ禍による6月総会後の懇親会中止の代替措置として、令和2年9月23日(水)17:00~18:45 ホテル椿山荘東京において、立和田新会長、永井新副会長はじめ新役員就任披露パーティーを開催した。

参加者は、来賓の国土交通省東川技術審議官様、森戸技術調査課長様、協会顧問で(一

財) 先端建設技術センター佐藤理事長様はじめ業界新聞社社長様に、正会員会社幹部、協会役員・委員会委員等 65 名。間隔を空けた着座形式など感染防止対策を講じて実施。

11. 第4回理事会

令和2年12月2日(水)16:00~17:00 ケミカルグラウト株式会社会議室で開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。

(議 案)

- 第1号 令和2年度中間決算報告の件
- 第2号 令和3年度事業計画骨子案の件
- 第3号 令和3年度建設マスター等候補者の推薦依頼等の件
- 第4号 暫定指針のレビューに関する件
 - (1) 賛助会員会社からの情報提供
 - ①JIS 見直し調査への協力依頼 (日本無機薬品協会)
 - ②日本産業規格の5年見直し調査への協力依頼・・・同上協会より
 - (2) 国土技術政策総合研究所から当協会への調査依頼
協会への調査票の回答・施工会社5社への調査 (薬液施工実績上位)
- 第5号 グラウト技能者能力評価実施規定 (案) の件
- 第6号 第5回理事会・懇談会 (祝賀) の開催に関する件
 - 理事会 令和3年3月5日 (金) 15:45~16:45
 - 懇談会 同 上 17:00~18:45
 - 会 場 グランドアーク半蔵門 3階 光の間・華の間・トパーズ
東京都千代田区隼町1-1

(報告事項)

1. 代表理事 (会長) 及び業務執行理事の職務執行状況報告
2. 会員調査結果の報告
令和元年度水ガラス系薬液年度別施工数量調査結果の報告
3. 前会長中森 保様の黄綬褒章受章の報告

12. 第5回理事会

コロナ禍により開催日時・会場を変更し実施した。

令和3年3月17日(水)15:30~17:00 ケミカルグラウト株式会社会議室で開催し、議案は全て全会一致で承認可決された。

(議 案)

- 第1号 令和3年度事業計画書 (案) 承認の件 (資料1)
- 第2号 令和3年度予算書 (案) 承認の件 (資料2)
- 第3号 令和3年度通常総会・役員会等の日程 (案) (資料3)
 - 1) 第1回理事会開催
 - 開催日時 令和2年6月16日(水) 15:30~15:50
 - 開催場所 学資会館 3階 320号室
東京都千代田神田錦町3-28 TEL 03-3292-5936
 - 2) 第46回通常総会開催
 - 開催日時 令和2年6月16日(水) 16:00~16:45
 - 開催場所 学資会館 3階 320号室
東京都千代田神田錦町3-28 TEL 03-3292-5936

3) 同日の通常総会懇親会 中止

第4号 令和2年度版 薬液注入工「設計資料」、「同 積算資料 (資料4)
の改訂・発行の件

第5号 令和3年度(第13回)登録グラウト基幹技能者認定講習の件 (資料5)

第6号 令和3年度第1回理事会開催の件
令和3年6月16日(水) 15:00~15:45
学資会館 3階 320号室

第7号 その他の議案に関する件

(報告事項)

1. 代表理事(会長)及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (資料6)

13. 支部通常総会・幹事会等の開催

(1) 支部通常総会・意見交換会の開催

支部通常総会は、コロナ禍のため書面開催となり、意見交換会は中止した。

(2) 支部幹事会の開催

支部幹事会は、コロナ事情を踏まえ事業執行について検討するため、本年4月から12月まで概ね2回程度少人数で開催した。

14. 委員会報告

(1) 技術委員会 薬液注入部会
(委員)

鈴木(喜久)技術委員長・部会長、中嶋技術副委員長・副部会長、稲川委員、
本谷委員、松田委員、大島委員、高野委員、京田委員
(委員会の開催)

令和2年4月から8月までは、コロナ事情により開催出来なかったが、支部要望事項等について検討し、10月以降は数回開催し設計・積算資料の改訂等について検討した。

(2) 登録グラウト基幹技能者講習に関する委員会

令和2年度「第7回更新講習」及び「12回認定講習」を実施するため、次のとおり委員会を開催し、準備・検討のうえ実施した。

○講習委員会(合議制の機関)

(委員)

赤木委員長(早稲田大学教授)、小宮委員(千葉工業大学学長・教授)、
渡邊委員(国土交通省課長補佐)、館山委員(日本交通技術株式会社副社長)
立和田会長、永井副会長、藤澤常務理事、柏谷常務理事、鈴木試験委員長、
西技術副委員長、遊田専務理事

(委員会の開催)

第1回 書面開催 更新講習、認定講習の試験問題を検討し決定した。

第2回 11月10日開催 更新講習、認定講習の合格基準を定め合否判定を行った。

○試験委員会

(委員)

鈴木委員長、西委員、中島(雅)委員、對馬委員、小幡委員、渡邊委員、
中島(隆)委員

(委員会の開催)

① コロナ禍により委員会は開催出来なかったが、各委員がそれぞれ講義担当箇所

の問題を作成し、委員長が問題(案)をまとめ、講習委員会に上程した。

- ② 認定講習当日の令和2年10月17日(土)・18日(日)、試験委員全員が講師として東京と大阪で講義を行った。
- ③ 10月20日に認定講習32名の解答を採点、その結果の分析資料を作成し、11月10日の第2回講習委員会に上程した。

○実行委員会

(委員)

藤澤委員長(常務理事)、柏谷副委員長(常務理事)、對馬委員、小幡委員、林田委員、本部事務局遊田、篠田、関西支部事務長武田、同支部応援の委員。

(委員会の開催)

実行委員会を少人数で随時開催し、次の業務を行った。

- ① 令和2年度(第7回)更新講習の案内(冊子)を作成し、ホームページに掲載すると共に本年度講習対象者の所属部署に送付した。(事前に所属部署の変更を確認。)
- ② 令和2年度の認定講習の受講案内を作成し、ホームページに掲載すると共に会員企業に周知した。
- ③ 更新講習及び認定講習の受講申込者の書類審査、講習の事前準備等を行った。
- ④ 10月17日(土)・18日(日)の認定講習初日に東京会場の開講挨拶を藤澤常務理事が、大阪会場の開講挨拶を柏谷常務理事が行い、実行委員全員で講習の運営管理を行った。
- ⑤ 更新講習受講者及び認定講習の合格者を発表、修了証を送付した。

(3) 第1回技能者能力評価ワーキンググループ

(委員)

對馬委員長、林田副委員長、長井委員、古賀委員、大島委員、遊田委員

(委員会の開催)

9月28日(月)13:30~15:00 第1回委員会を開催。

【Ⅲ】協会本部事務所の移転

1. 事務所の移転理由

「文京区後楽1-1-2 春日ビル」は1972年竣工のビルで、所有会社の耐震調査の結果、緊急に耐震補強工事が必要との結果が出たため、入居者全員に移転の協力依頼があった。当協会はじめ入居者全員が移転補償を受けて移転した。

2. 移転先

新事務所は2004年竣工の建物で賃借料が高いため広さは20坪(旧ビル30坪)と3分の1狭くなった。

物件名 東京都千代田区神田駿河台3-1「ステージ駿河台3階」

3. 事務所移転に必要な手続き

前所在地の文京区以外に移転するため、定款変更が必要であり総会議決が必要。また、具体的な所在地、移転時期等を定める必要があり、理事会の議決が必要。

4. 移転承認

昨年6月8日開催の理事会・通常総会において上記変更手続き承認。

定款変更

第2条の「主たる事務所を東京都文京区に置く。」を「千代田区に置く。」に変更。

5. 移転

昨年6月11日に移転した。

一般社団法人日本グラウト協会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1 ステージ駿河台3階

電話番号 03-3816-2681 F A X 番号 03-3816-3588

【IV】支部事務局の変更

①関東支部

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目13番12号 中立ビル2階

(株式会社 地巧社内)

電話 03-3352-6796 F A X 03-3352-6903

②中部支部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1丁目16番6号

名古屋三蔵ビル8階 (日特建設株式会社内)

電話 052-202-3211 F A X 052-202-3212